

色覚異常について

堀川小学校校医 稲葉眼科 院長 稲葉 昌丸

男子の5%は色覚異常です

色覚異常は日本人男子の5%に認められ、白人男子では8%に達すると言われています(日本人女子では0.2%程度)。しかし、まったく色がわからず世界がモノクロに見えてしまうほどの色覚異常は稀です。色覚異常といっても、微妙な色の見分けが他の人より少しだけ苦手なだけというレベルから、黒板に色チョークで書かれた文字が読みにくいレベルまで、その程度はさまざまです。



通常の色覚



軽度の色覚異常



中等度の色覚異常



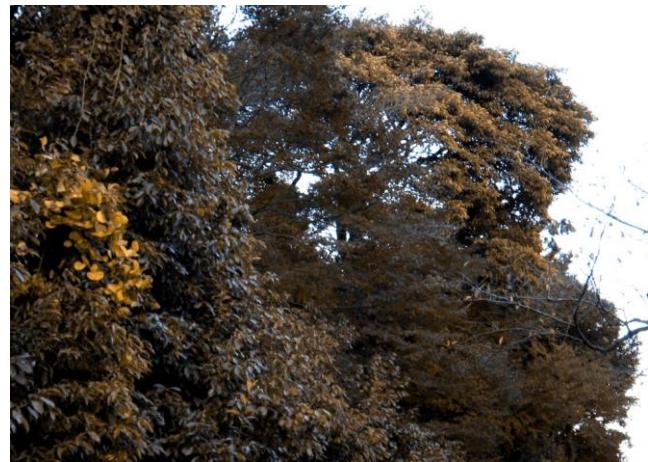
強度の色覚異常

色覚異常によって児童が不利益を受ける事があります

色覚異常があると、色の受け取り方が違ってくるため、他の人と色についての意見が合わない、色で伝えられた情報を正しく受け取れない、といったトラブルが起きることもあります。その時、色覚異常であることを児童や保護者が知らないでいると、児童が混乱して自信を無くしたり消極的になってしまう事があります。また色覚異常があると、就けない職業も一部にありますから、中高生になる前に色覚異常の有無を知っておく必要があるでしょう。



通常の色覚

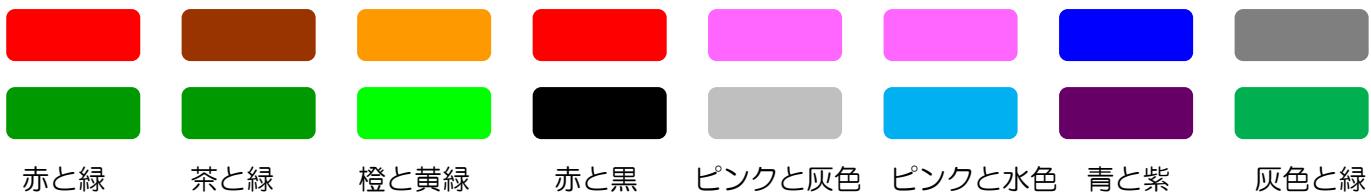


強度の色覚異常

色覚異常はカバーすることが出来ます

ほとんどの色覚異常は遺伝的なものですから治療は困難ですが、色の見分けが苦手だとわかっているれば、他の目印で区別する、色に頼らない説明をするなどの方法でカバーし、ハンディを無くすことが出来ます。どの色がわかりにくいかを保護者の方が知っているれば、あらかじめ説明しておくことで児童の混乱を防ぐことも出来ます。

区別が付きにくく、見間違えやすい色の組み合わせ



普通、赤は目立つ色、明るくて派手な色というイメージがありますが、色覚異常の児童には、赤が黒に近い色に見えてしまうことがあります。カラーの絵を白黒でコピーすると、赤が黒く見えてしますが、それと似たような感じだと思って下さい。

このため、赤線で強調した箇所や、赤で書いた文字が目立たず、見逃してしまうことがあります。また、赤色の服を地味に感じることもあります。強調したいところには太い線を引く、比較的明るい色の文字を使うなどの工夫をして下さい。明るい感じにしたい時は、赤色ではなく、白黒のコピーにあっても明るく見えるような色を選ぶと良いかもしれません。また、なにかを示す時には「あの赤い四角い積木」などのように、色と同時に形なども説明しながら、はっきり指でさし示すとよいでしょう。

児童と一緒に、実際に色があるものを前に置いて、どんな色が好きか、どの色が暗い感じで、どの色が明るい感じか、派手な色はどれかなどを話し合うとよいでしょう。自分に欠陥があるように感じさせるのは好ましくありませんから、楽しくおしゃべりしながら「見え方」「見方」を「個性」として理解してあげてください。

色の見分けが苦手かな、と思ったら眼科を受診して下さい。



赤と緑の電気のカラーコードが
見分けにくいことがある

絵の具やクレパスを
選ぶのが苦手

似たような色の服を間違いやすい、植物や景色の色を間違いやすい、絵を描く時の色使いが人と違う、間違った色のクレヨンや色鉛筆を持つてしまうなど、色の見分けが苦手な様子があれば眼科を受診して相談して下さい。色覚検査は簡単ですぐに終わりますし、費用も視力健診程度です。視力健診のついでに色覚を検査してもらっても良いでしょう。

現在では、色覚異常があっても進学や就職で不利になることもめったにありません。多くの人に色覚異常がありますし、欧米では個性の一部とさえ考えられています。しかし、保護者としては子供がどのような見方をしているかを理解しておく必要があります。気になる点があれば、眼科を受診して相談して下さい。